

日本史(20) 「平安王朝の形成② 地方と貴族社会の変貌／唐風文化」

○今回のポイント

平安時代初期の班田収授の立て直しはうまくいかず、土地の私的所有が広まった。
一方、文化の側面では文章経国の思想が広まり漢文学が盛んとなった。

【地方と貴族社会の変貌】

(1) [1. 班田収授] の実施困難

■ 8世紀後半～9世紀 農民階層の分解 → 貧富の差

↓

■ 有力農民も貧窮農民も様々な手段で負担を逃れようとする

↓ ・ [2. 浮浪] ・ [3. 逃亡] ・ 浮浪人・私度僧・貴族の従者などなど

■ [4. 偽籍] の増加

↓ ・ 律令税制は戸籍に基づいていたが、兵役・労役・租税を負担する成人男性ではなく女性として登録する。

■ 律令制度が実態とあわなくなる

↓

■ 班田収授が実施困難

(2) 効果が無かった桓武の政策

① 班田収授の励行

・ 6年ごとの戸籍作成に合わせて6年1班であった班田の期間を [5. 12] 年(一紀)一班に改める。

※一紀とは十二支が一周するから12年

② 負担を軽減して公民を維持

・ [6. 公出挙] の利息を利率5割から3割に減らす

・ [7. 雑徭] の期間を年間60日から30日に半減する

③ しかし、効果はなかった。

・ 9世紀には班田が30年、50年と行われぬ地域が増える。

(3) 土地の私的所有

■ 調・庸などの未進によって中央の国家財政の維持が困難

↓ ・ 政府、国司や郡司たちの租税徴収に関わる不正・怠慢を取り締まる。

■ 政府は有力農民を利用した直営方式を採用して収入をはかるなど、財源の確保につとめる。

↓ ・ 823年 大宰府に [8. 公営田] を設置

↓ ・ 879年 機内に [9. 官田] (元慶官田・がんぎょうかんでん) を設置。

■ 諸集団は財政的自立。(国家財政に対する依存を弱める)

↓ ・ 中央の各官庁 → [10. 諸司田]

↓ ・ 天皇 → [11. 勅旨田]

↓ ・ 皇族 → 天皇から [12. 賜田]

■ [13. 院宮王臣家] の大土地所有

↓ ・ 天皇と親近な関係にある少数の皇族や貴族

↳ 私的に多くの土地を集積し、国家財政を圧迫しつつ勢いをふるうようになる。

↳ 下級官人は院宮王臣家の従者に。地方の有力農民たちも保護を求めて勢力下にはいる。

【唐風文化と平安仏教】～弘仁・貞観文化編～

(1) [14. 弘仁・貞観文化]

- ・平安遷都～9世紀末頃 [15. 嵯峨]・[16. 清和]の時代 平安京における貴族を中心とした文化
- ・[17. 文章経国]の思想
 - ・文芸を中心として国家の隆盛を目指す。
 - ・宮廷では漢文学が発達。
 - 『18. 凌雲集』…最初の勅撰漢詩文集。嵯峨天皇の命。
 - 『19. 文華秀麗集』…嵯峨天皇が自ら作品を撰定
 - 『20. 経国集』…淳和天皇の命。
- ・仏教…天台宗・真言宗が広まり、[21. 密教]が盛んになる。

(2) [22. 嵯峨天皇]の文化政策

- ①唐風を重んじ、平安宮の殿舎に唐風の名称を付ける。
- ②唐風の儀礼を受け入れて宮廷儀式を整える。
- ③文学・学問に長じた文人貴族を政治に登用して国家の経営に参加させる。

(3)漢文学の発展

■貴族の教養 = 漢詩文作成 → 漢文学が盛ん：国風文化の前提

- ①嵯峨天皇…漢詩文に優れる。
- ②空海…漢詩文作成についての評論『23. 文鏡秘府論』、詩文集『24. 遍照發揮性靈集』
- ③[25. 小野篁]…遣唐副使となるが大使藤原常嗣(つねつぐ)と良船を争い乗船を拒否し隠岐へ流される。許されて参議まで進む。
- ④菅原道真…『26. 菅家文章』(前6巻は少年時代から官僚時代の漢詩と後6巻は散文)、
『27. 菅家後集』(大宰府時代の漢詩)。

(4)学問の発達

- ①大学での学問…儒教を学ぶ[28. 明経道]、中国の歴史・文学を学ぶ[29. 紀伝道]が特に重視。
- ②[30. 大学別曹]…平安時代以来、有力氏族が一族の子弟を寄宿させ、大学で試験や講義を受けるのに
便利のように設けた施設。
 - ・[31. 弘文院]…800年ごろ、和気清麻呂の子、広世が書籍数千巻を用いて設置。
 - ・[32. 勸学院]…821年。藤原冬嗣が設置。
 - ・[33. 学館院]…844年。嵯峨天皇の皇后橘嘉智子が橘氏のために設置。
 - ・[34. 奨学院]…881年。在原行平。在原・源・平氏等、皇族出身の氏族学生を寄宿させる施設。
- ③[35. 綜芸種智院]
 - ・828年頃、[36. 空海]が庶民教育の目的で京都に設置した学校。綜芸とは各種の学校の意。大学・
国学は身分制限があり、儒教中心であるのに対し、より広い立場で儒教・仏教・道教を教えた。彼の死後
は廃絶。

【その他の教科書に載っている著作物】

- ①[37. 日本霊異記]…正しくは『日本国現報善悪霊異記』。822年頃に成立。現存する日本最古の説話集。
薬師寺の僧、景戒の作品。仏教思想の影響を受けた因果応報譚が多い。
- ②[38. 類聚国史]…200巻(現存62巻)。892年に成立。菅原道真が六国史の内容を部門別(神祇・帝王・
後宮・政理など)に分類し、編年順に並べた史書。